

ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第 242 号

令和4年9月1日発行



学生ボランティアサークルと児童によるふれあいハイキング

地域福祉部		学生ボランティア紹介	7
社会福祉協議会と子ども食堂	2	福祉人材・研修センター	
介護実習・普及センター		介護の職場就職面談会	8
介護教室派遣事業の募集	3	「福祉職場就職支援講座」受講生募集	8
長寿社会推進部		障害者職業能力開発校入校生募集	9
あなたのまちなりのアクティブシニア		介護実習・普及センター	
「ちょこっと世話やき隊」(阿久根市)	3	楽しく学べる介護講座(9~11月)のご案内	10
「すこやか長寿社会運動」のご紹介	4	共同募金会	
福祉サービスに関する苦情解決の取組み	5	令和4年度共同募金助成計画	11
ボランティアセンター		インフォメーション	12
災害ボランティアセンター運営支援			
ボランティア養成講習会	6		



社会福祉協議会と子ども食堂

～取組事例：徳之島町社会福祉協議会～

鹿児島県内各地において「子ども食堂」の取組が増えてきています。社会福祉協議会は、子ども食堂の実施主体として活動する他、様々な形で子ども食堂を支援しています。

子ども食堂ってどんな活動なの？

子ども食堂は、地域のボランティアや保育園、幼稚園、社会福祉法人、お寺等が運営の主体となって、子どもを中心に地域で暮らす方々に無料又は低料金で食事を提供する活動です。令和4年6月末時点で、県内では120ヶ所の子ども食堂があります。参加者は子どもだけでなく、保護者や地域住民誰でも利用できる子ども食堂もあり、地域食堂と呼んでいるところもあります。子どもに対する食事の支援だけでなく、活動を通じて居場所づくりや仲間づくり、世代間交流の場にもなっています。



子ども食堂の様子

社会福祉協議会と子ども食堂

社会福祉協議会では、子ども食堂に対し様々な形で支援を行っています。例えば、子ども食堂で活動される方々のボランティア活動保険の加入手続きを行ったり、各地域で開催されるボランティア連絡会で情報提供や意見交換を行う等、支援の形は様々あります。また、社会福祉協議会で直接、子ども食堂や地域食堂、宅食を運営しているところもあります。こうした取組が全国で増える中、去る6月28日に全国の社会福祉協議会職員がオンライン等で一堂に会し、子ども食堂への支援のあり方や目指すべき方向性について考える研修会が開催されました。



子ども食堂の支援等を考える研修会

徳之島町社会福祉協議会の取組

徳之島町社会福祉協議会では、令和4年1月から毎週土曜日にデイサービスのスペースを活用して「子ども食堂」を開催しています。この取組は、「支援対象児童等見守り強化事業」として開始され、民生委員児童委員や、地域女性団体連絡協議会、食生活改善推進員など地域の関係団体等と協働連携しながら運営しています。様々な理由により「子ども食堂」まで来ることができない子どもには、支援者が食事を持って自宅を訪問する「子ども宅食」で対応しています。また、子ども食堂では、スタッフによる学習・生活支援を行ったり、栄養士による食に関する相談を受ける等、単に子どもに食事を与える場としてだけでなく、様々な形で地域の交流の場としての役割を果たしています。

宅食で自宅を訪問する支援者



食生活改善推進員の皆さん

お問い合わせ先

社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部

TEL:099-257-3855 E-mail:chiikifukushi@kaken-shakyo.jp

「介護教室派遣事業」の実施企業・団体を募集中！

～企業や団体で介護について学んでみませんか？～

- ・「介護教室」を実施する企業や団体を募集しています。
- ・「介護について」学びたい企業・事業所（介護関係事業所を除く）、団体（自治会含む）等に介護の専門家を研修会場へ派遣します。

経 費 無料（会場使用料及び参加者の出席に係る経費は申込者の負担になります）

講座内容 ①～⑥のどれか一つを選択してください（1講座：60分）

①	基本を知ろう！ 在宅介護の基礎	②	知って安心！ 介護保険と福祉用具の利用方法
③	認知症って？ 認知症の理解と対応	④	お口のケアと 飲み込む体操
⑤	健康寿命を延ばす 足腰げんき体操	⑥	かんたん楽しい！ 笑顔で脳トレ

お申込み・お問い合わせ先

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 介護実習・普及センター

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター2階
TEL 099-221-6615・6616 FAX 099-239-0384



あなたのまちのアクティブシニア



阿久根市では、日常生活においてお困りの高齢者等に対して生活支援を行う「ちよこつと世話やき隊」が、令和3年1月から活動しています。公的サービスではできない「ゴミ出しや買い物、話し相手など」に対応する「ボランティアグループ養成講座」の受講者が、阿久根市社協の協力を得て取り組み始め、現在、阿久根・大川・脇本・西目・山下地区の隊員27名で活動しています。

まず、「刃物研ぎ」を行っていますが、これは一人暮らし高齢女性の「普段使っている包丁の切れ味が悪くなった。包丁を研いでもらいたい。」との声から始まりました。

また、「庭木の剪定、草払い、網戸の張替え、お風呂のカビ取り剤散布」等も行っており、利用料金は、気兼ねなく利用してもらうため、30分200円に設定しています。

市内にある社会福祉法人の社会貢献事業と結びつけた高齢者の買物支援「ドライブサロン」は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、幾度となく

「ちよこつと世話やき隊」(阿久根市)

中止となりましたが、施設業務の経験がある隊員が、市社協の公用車を使用して、代わりに担ってくれました。地域の方々から、「久しぶりにみんなと話ができて楽しかった」「自分で買物ができて嬉しい」と大変喜ばれました。

また、令和4年1月には、阿久根初の「ちよこつと食堂」を本町地区で開き、当日は地元のカフェで約10人が調理し100食程を用意。自宅に届けてもらった高齢者や昼前に来場した児童クラブの子どもたちは、無料で振る舞われたカレー弁当を手にして、嬉しそうにしています。

今後、市内全域で「ちよこつと食堂」を通じた交流や居場所づくりにも取り組み、地域のつながりが強まれば嬉しいと隊員同士で話しています。

これからも住民の皆さんが安心して住み慣れた地域で暮らしていただけるよう「ちよこつと世話やき隊」の仲間を増やしながら、活動を継続していきます。



<連絡先>
阿久根市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
中原 恵
☎0996-72-3800

「すこやか長寿社会運動」をご存じですか？

すこやか長寿社会運動とは

高齢者が長年の経験の中で培った知識や技能を生かして積極的に社会参加し、生きがいのある生活を送ることができる心豊かで活力ある長寿社会を実現するため、県民総ぐるみの「すこやか長寿社会」を推進する運動です。

鹿児島県社会福祉協議会では、鹿児島県が平成元年度から進めている本運動の一環として、次のような事業を推進しています。



人づくり

かごしまシニア人材育成促進事業

地域活動に意欲のある高齢者の社会参加を促進するため、必要な知識等を習得する研修の実施や活動事例集の配布により、地域が行う高齢者の人材育成等を支援します。今年度は7月から12月にかけて、北薩地域・大島地域・大隅地域において、人材育成基礎研修、人材育成講座、人材育成実践研修及びフォローアップ研修を実施する予定です。

健康・生きがいづくり

シルバー文化作品展

高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めることで、心身ともにすこやかなゆとりある「生きがいづくり」を推進するため、県内居住の高齢者の創作による日本画、洋画、書、工芸、写真、彫刻の作品を展示します。

今年度は、9月7日から9月11日まで、県歴史・美術センター黎明館で展示いたします。



全国健康福祉祭派遣事業

高齢者の健康及び福祉に関する総合的な普及啓発イベントである「全国健康福祉祭」(通称「ねんりんピック」)に選手を派遣します。

今年度は、11月12日から11月15日まで、神奈川県で開催される予定です。



いきいきシルバースポーツ大会

スポーツ活動を通して、高齢者の心身の健康と生きがいづくりの推進を図るとともに、高齢者に対する地域住民の理解と関心を高めるため、高齢者を中心とする市町村や地区別で開催されるスポーツ大会を支援します。

各市町村老人クラブ連合会が主体となり、県内各地で実施されます。

地域づくり

かごしまアクティブシニアのちから活用事業

「社会参加を希望するシニア世代」と「活躍の場となる市町村・団体等」の両者のニーズのマッチング・コーディネートを行い、高齢者の社会参加活動を通じた生きがいづくりの促進を図ります。

福祉サービスに関する苦情解決の取組み

福祉サービス運営適正化委員会とは

運営適正化委員会(以下、「委員会」という。)は、社会福祉法第83条に基づき、平成12年度から鹿児島県社会福祉協議会に設置されている福祉サービスの苦情相談窓口です。

福祉サービスを提供している事業者には「苦情受付担当者」や「苦情解決責任者」が配置されています。また、多くの事業者で公平・中立な立場の「第三者委員」も設置されています。

苦情の申出については、事業者段階で利用者(家族)・事業者・第三者委員の話し合いによって解決を図ることが基本になりますが、解決しない場合や事業者に直接言いにくいときには、委員会へ直接相談することができます。

委員会では、中立・公平な立場から利用者からの福祉サービスに関する要望・苦情を受け付け、解決に向けて相談・助言・事情調査・あっせんなどを行いその解決を図ります。

苦情等の受付状況 (令和3年度分)

令和3年度に委員会に寄せられた相談・苦情の受付件数は157件、うち苦情が99件となっています。

サービス分野別の件数【図1】をみると、「障害者分野」の割合が最も多く、全体の6割近くを占めており、障害福祉サービスを利用される本人からの申出が最も多くなっています。

また、苦情の内容別の件数【図2】でみると、例年どおり「職員の接遇」が最も多くなっており、日頃の職員の関わり方や説明・対応不足から苦情につながる人が多いようです。

図1 福祉サービスの分野

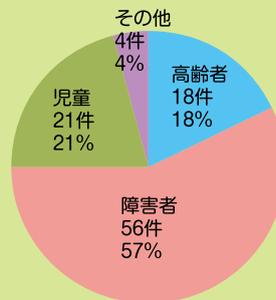
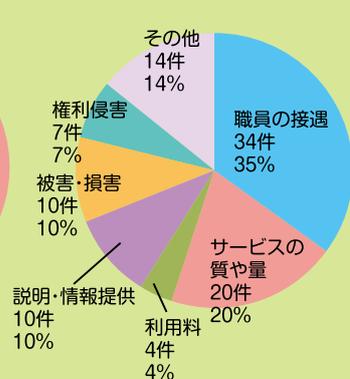


図2 苦情の内容



苦情解決事業の広報・啓発について

「相談・苦情受付広報用ポスター」等を配付しています

委員会では、県内の福祉サービス事業所において苦情解決の仕組みが整備されるよう、苦情対応研修会の開催や事業所巡回訪問の実施、調査研究事業の実施のほか、『相談・苦情受付広報用ポスター』や『啓発用リーフレット』を作成し、広報・啓発活動を行っています。

『広報用ポスター』には、施設・事業所名や、相談・苦情の受付担当者及び解決責任者、第三者委員の氏名や連絡先等を記入することができるようになっており、事業所内に掲示して苦情窓口の周知を図ることで、利用者や家族等が気軽に相談できる体制を構築することにつながるものです。

ポスター・リーフレットの必要な事業所は、直接取りに来ていただくか、または郵送でも配付しておりますので、必要枚数について下記の委員会事務局までお申し出ください。

右のQRコードからもお申込みいただけます。➡



相談時間 月～金曜日 9:00～16:00
(ただし、祝日・12/29～1/3を除く。)

相談方法 電話・来所・FAX・郵便・Eメール

福祉サービス運営適正化委員会 【事務局】

鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部

TEL:099-286-2200 FAX:099-257-5707 E-mail:tekisei@kaken-shakyo.jp

令和4年度

災害ボランティアセンター運営支援ボランティア養成講習会

全国各地で様々な自然災害が多発する中、災害ボランティアセンターによる被災者支援の役割に大きな期待が寄せられていることから、ボランティアセンターでは毎年「災害ボランティアセンター運営支援ボランティア養成講習会」を開催しています。

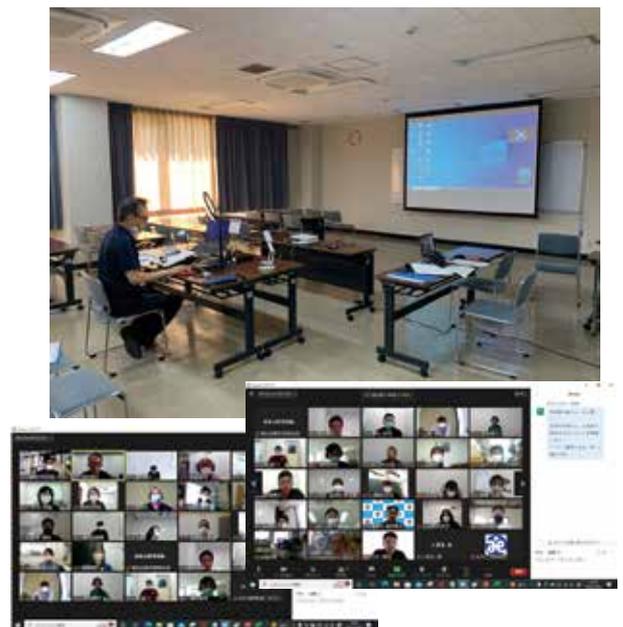
昨年度と同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため完全オンラインでの開催となりましたが、短い期間で募集定員に達したことなどから、災害ボランティアセンターの運営支援を通じた被災者支援への関心の高まりと同時に、新型コロナウイルスの感染が懸念される状況下で、“支援する側”の感染リスク低減等にも関心の広がりうかがえた講習会となりました。

1 講義 I 「災害ボランティアセンターとは～歴史の変遷、被災者支援の基本的理解等～」

災害ボランティアセンター（以下「災害VC」という）の歴史や近年の特徴、被災者支援の基本的な考え方、災害VCの果たす役割や機能、大規模災害の教訓や傾向等をもとに見直しが進む各種の制度・施策及び運用等の内容など、運営支援ボランティアとして必要な基礎知識について学びました。

2 演習「衛生管理に配慮した災害VC運営を支えるために…」

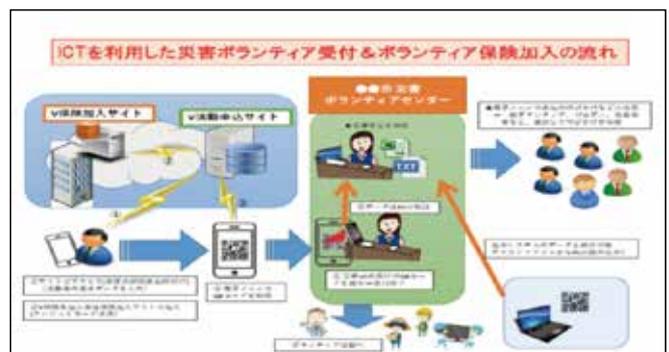
次は、全国社会福祉協議会が公表している“新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する各種指針”の体系等を説明した後、災害VCを運営する上で特に関係の深い指針である「新型コロナウイルスの状況下における衛生管理に配慮した災害VC運営上の留意点」について理解を深め、コロナ禍における災害VCの設置・運営等で生じる課題等を共有しました。その後、コロナ禍以前の災害VCのイラストを教材にして、感染拡大防止策に留意したコロナ禍の災害VCのあるべき姿について1人で考えるセルフワーク、次にオンライン上で5人1組になって考えるグループワークを行い、コロナ禍における持続可能な災害VCの運営支援の形を検討し意見交換等を行いながら共通理解を図りました。



3 説明 II 「ICT を利用した災害ボランティア受付システム～災害VCの受付簡略化と運営省力化を目指して～」

最後のプログラムとなった「ICT を利用した災害ボランティア受付システム」については、全国社会福祉協議会が開発した災害ボランティア受付・ボランティア活動保険加入システムの説明と画面上でのデモンストレーションを行いました。

災害VCの運営にかかる業務簡略化・省力化等にICT（情報通信技術）を活用することで、感染リスクの低減にもつながることなどに理解を深め、閉会しました。



ICTを利用した災害ボランティア受付&ボランティア保険加入の流れ

学生ボランティア紹介

目指せ!! 地域を元気に♪
学生お助け隊

鹿児島大学ボランティアサークル

(フリースポット) FreeSpot

●活動について

部員数は98人。鹿児島の地域活性化を目的に結成されたサークルで、現在は月に一度錦江町の小学校で開かれる寺子屋塾で児童との交流や学校行事の手伝いと、毎週土曜日に霧島市の児童クラブの手伝いなどを中心に活動しています。

また、毎月の部会では活動報告と情報共有、次の活動について話し合います。

最近は、Instagramを見た方からボランティアの依頼も増え“大学生にできる範囲”で対応させてもらっています。



●部長のインタビューから

「コロナ禍で活動できない時期もありましたが、久しぶりに子どもたちと小松菜畑づくりをした時に、自然の中での無邪気な笑顔に感動と元気をもらいました。

今後は、高齢の方との触れ合いなど活動の幅を広げ様々なボランティアに対応できるサークルを目指したいです。」と大所帯を率いる部長の宮脇早輝さんは瞳を輝かせました。



Instagram是非、見てください

お友だちの笑顔が活動の醍醐味♪
一緒に成長しています

志学館大学ボランティアサークル児童心理研究会

かたぐるま

●活動について

子どもが大好きな児童心理に関心のあるメンバー19人で、発達に障害を抱えた子どもとその兄弟が集まる日曜学級にスタッフとして参加しています。

県内の他大学も参加しており、協力しながら子どもたちに楽しんでもらえるようイベントを企画準備する中で交流の幅も広がります。

子ども達の笑顔が一番の喜びで、次の活動への意欲に繋がります。



●部長のインタビューから

色々な個性の子ども達から学ぶことが多く、自身も成長させてもらっています。

「日曜学級の他に、“かたぐるま”としてのボランティア活動の場を広げていきたい。」と嶋崎康太郎部長は今後について熱くお話をされました。



～あなたの就職活動をお手伝いします!! お気軽にご参加ください～

令和
4年度

介護の職場就職面談会

〔 情報提供・資格取得等
相談コーナーを設置 〕

－同日開催－ 介護職場シニア就職応援セミナー

介護職場の人事担当者と求職者との個別面談会を県内2地域で開催します。

セミナー 10:00～12:00 (対象：おおむね55歳以上で
介護や介護の仕事に関心のある方)

就職面談会 13:00～16:00 (受付 12:30～15:30)

参加費 無料 (事前申込不要・履歴書不要・入退場自由)

開催地	開催日	会場	所在地
鹿屋市	令和4年 9月 17日(土)	かのやグランドホテル	鹿屋市共栄町 12-3
薩摩川内市	令和4年 11月26日(土)	薩摩川内市総合福祉会館	薩摩川内市永利町 4107-1

参加対象者 介護の職場への就職希望者 (一般の方及び大学・短大・専門学校生
(令和5年3月卒業予定者))

主催 鹿児島県、鹿児島県社会福祉協議会

お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号
☎ 099-258-7888 FAX 099-250-9363 E-mail: jinzai8@kaken-shakyo.jp

※ 新型コロナウイルス感染症の状況や台風接近等のため開催できない場合があります。
直近の状況をホームページ等で必ずご確認ください。

令和
4年度

「福祉職場就職支援講座」受講生募集!

受講料
無料

福祉職場に就職・復職を希望する方々を対象に、福祉についての理解を深めてもらうとともに、福祉職場で働くために必要な知識や技術などを学ぶための講座(全4回)を開催します。

各回 定員 40名 申込み先着順 (新型コロナウイルス感染対策のため
定員が減少する場合があります。)

回	講座名	講座の内容
第1回	福祉の基礎知識①	歴史、法律、制度、福祉の現状と将来
第2回	福祉の基礎知識②	福祉の各分野と福祉サービスを支える様々な職種、施設、資格
第3回	介護技術の基礎①	立位、ベッド上での移動、車いすの介助
第4回	介護技術の基礎②	衣服の着脱、排泄の介助

第1回 日時：令和4年 10月 29日(土) 13:15～16:30
第2回 会場：かごしま県民交流センター東棟3階大研修室第2

第3回 日時：令和4年 11月 5日(土) 13:15～16:30
第4回 会場：かごしま県民交流センター東棟5階絵画制作室

申込み期限 日時：令和4年 10月 7日(金)



お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター ☎ 099-258-7888

令和5年度 **障害者** 訓練生募集

あなたの自立を応援します。

全国から応募できます。



OA事務科授業の様子

訓練期間（令和5年4月から1年間）

- 情報電子科
- グラフィックデザイン科
- OA事務科
- 介護福祉サービス科
- アパレル科
- ワークトレーニング科

- ◆募集期間
- A日程……令和4年 8月 1日(月)～令和4年 9月15日(木)
 - B日程……令和4年10月21日(金)～令和4年11月24日(木)
 - C日程……令和5年 1月 4日(水)～令和5年 2月15日(水)

◆特典など ● 受験料・授業料は無料です。

- 訓練期間中は雇用保険の受給延長または訓練手当等の給付を受けられる場合があります。
- 通校困難な訓練生のために寄宿舎を併設しています。お風呂は温泉です。



国立 鹿児島障害者職業能力開発校

〒 895-1402 薩摩川内市入来町浦之名 1432 TEL 0996-44-2206

※ 入校案内や応募書類は最寄りのハローワークにあります

鹿児島能開校 で検索

令和4年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ぶくしの保険

検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

**スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！**

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞) 保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました！

NEW 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 職員等の補償

プラン4 法人役員等の補償



●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

9月～11月 楽しく学べる介護講座

番号	講座名	日時	内容	受講料等
1	介護職基礎研修A	9月8日(木) ～9日(金) 10:00～16:00	○介護保険制度の理解と介護の心得 ○身体や腰に負担をかけない起居・移乗・移動の介助方法 ○高齢者のための転倒予防体操・心身機能低下予防体操 ○身体状況に応じたおむつの選び方・あて方・交換方法	5,000円
2	やさしい介護教室A 【県民向け】	9月17日(土) 10:00～15:00	○認知症って!?認知症の理解,声かけ・接し方 ○不安解消!排泄用具の選び方・使い方	500円
3	やさしい介護教室B 【県民向け】	10月26日(水) 10:00～15:00	○これは助かる!福祉用具の選び方・使い方 ○らくらく!寝返りから移乗までの介助方法	500円
4	介護職基礎研修B	10月27日(木) ～28日(金) 10:00～16:00	○福祉用具の選び方・使い方,安全確認トレーニング ○体位変換・ポジショニングケアの方法 ○誤嚥を防ぐ食事の姿勢と介助方法 ○認知症疾患別の理解とケア,コミュニケーションのとり方	5,000円
5	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアI)	11月10日(木) 10:00～16:00	○排泄やアセスメントについての基礎知識 ○おむつの 選び方・あて方 ○福祉用具を使った排泄の介助方法	4,000円
6	やさしい介護教室C 【県民向け】	11月12日(土) 10:00～15:00	○基本を知ろう!衣服の着脱,歩行の介助方法 ○ここに注意!誤嚥をふせぐ食事の介助方法	500円
7	介護レクリエーション研修	11月16日(水) 10:00～16:00	○簡単な運動や創作を楽しむ介護状態別レクリエーション	3,000円
8	【日時】9月22日(木)10:00～15:30 【場所】南大隅町老人福祉センター	地域介護講座【県民向け】		500円
9	【日時】10月14日(金)10:00～15:30 【場所】日置市日吉老人福祉センター	○らくらく!寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗の介助 方法 ○ここに注意!誤嚥をふせぐ食事の介助方法 ○これは助かる!福祉用具の選び方・使い方		
10	【日時】11月2日(水)10:00～15:30 【場所】阿久根市中央公民館鶴見分館			

講座・研修の様子

(番号1～7までの会場は、すべて「かごしま県民交流センター」です。)



リフレッシュ研修



感染症対策・褥瘡ケア&救急対応研修



体位変換・ポジショニングケア

「快護生活フェス!福祉機器展&セミナー」について(お知らせ)

例年、福祉用具の日(10月1日)関連イベントとして開催している「快護生活フェス!」につきましては、令和4年10月7日(金)・8日(土)に実施する予定としています。セミナーや最新福祉機器の紹介、介護ロボットフォーラムなど、皆様が安心して参加できるイベントを目指し準備を進めているところです。内容・申込み方法など詳細が決まりましたら、当会ホームページ等で案内させていただきます。ぜひご参加ください。

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示)(運営:社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号 かごしま県民交流センター 2階

TEL 099-221-6615・6616 FAX 099-239-0384

E-mail kaigo-kakenshaky@po5.synapse.ne.jp URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

【利用時間:9:00～17:00 休館日:月曜日(※祝日の場合は翌日)、12/29～1/3】



※掲載の内容については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止または延期となる場合がありますので、ご了承ください。また、研修・講座が定員に達した場合はキャンセル待ちとなります。

※認知症介護実践者研修や福祉用具専門相談員養成研修等の開催時期等につきましては、本会ホームページ <http://www.kaken-shakyo.jp/>内の「介護実習・普及センター研修・講座」ページに掲載しています。

県共同募金会からの
お知らせ



☎ 099 (257) 3750
URL <https://akaihane-kagoshima.jp/>

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

今年も10月1日から始まります。
ご協力をよろしくお願ひします。



ひとりひとりの小さなお金。
そのお金に「誰かの助けになりたい」という
気持ちがかもって十人、百人、千人と集まれば、
大きな力に変わります。
赤い羽根は、小さなことをしています。
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。
つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

意志あるお金、募金のチカラ。
赤い羽根共同募金



■令和4年度 共同募金目標額

一般募金	217,591,000 円
歳末たすけあい募金	42,409,000 円
合計	260,000,000 円

※共同募金目標額は、社会福祉施設・団体等からの助成要望や、前年度の募金実績等に基づいた助成計画を参考に設定しています。

■令和4年度 一般募金の助成計画

区分	金額(千円)	内容
地域福祉活動助成	158,669	各市町村における地域・在宅福祉サービス事業
福祉団体等活動助成	14,420	県域で活動する福祉団体、社会的孤立解消支援事業等
災害見舞金	3,869	火災、その他の災害被災者、遺族への見舞金
次年度運動準備金	45,000	資材作成、広報活動等に必要の事務費・事業費等の運動推進費
災害等準備金積立金	7,800	大規模災害に備える積立金
合計	229,758	

■令和4年度 歳末たすけあい募金の助成計画

区分	金額(千円)	内容
地域歳末たすけあい	37,909	歳末時期を中心とした地域福祉サービス、要支援者への金品贈呈等
NHK歳末たすけあい	8,463	NHKとの共催で、児童福祉施設、グループホーム等へ品物を贈呈
合計	46,372	

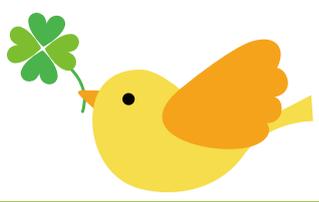
赤い羽根共同募金へ
スマホから募金できます



※助成計画が目標額を上回るのは前年度の繰越金などが含まれるためです。

インフォメーション

information



みなさまのご厚意に感謝いたします。

次の方々から、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。(令和4年6~8月)

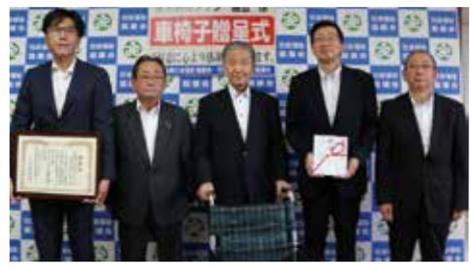
○ボランティアグループさわやか会様

「さわやか会の集い チャリティー演芸大会」の収益金の一部を鹿児島県社会福祉協議会へご寄付いただきました。

令和4年6月24日
ボランティアグループさわやか会 会長 鳥越 昭一 様

○一般社団法人 鹿児島県タクシー協会 様

「タクシーの日」を記念して5市町の社会福祉協議会に車いすを寄贈されました。



副会長 下之角 洋 様(左から2番目)、
「タクシーの日」実行委員長 井手 康雅 様(左端)、
受領した社協の代表 出水市社会福祉協議会会長 渋谷 俊彦 様(左から3番目)

○鹿児島相互信用金庫様、 フコクしんらい生命保険株式会社様



鹿児島相互信用金庫様とフコクしんらい生命保険株式会社様から、生命保険の窓口業務により得られた収益の一部を、SDGsの達成に向けた取組強化及び地域社会への貢献を目的として、公益性の高い団体として鹿児島県社会福祉協議会へご寄付いただきました。

令和4年6月14日
鹿児島相互信用金庫理事長 永倉悦雄様(右端)
フコクしんらい生命保険株式会社常務執行役員 森下俊彦様(左端)

※写真撮影に際しては、撮影の時間だけマスクを外してもらいました。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

ケガの補償	プラン			
	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
死亡保険金	1,040万円	1,040万円	1,040万円	1,040万円
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	1,040万円	1,040万円	1,040万円
入院保険金日額	6,500円	6,500円	6,500円	6,500円
手術 入院中の手術	65,000円	65,000円	65,000円	65,000円
手術 外来の手術	32,500円	32,500円	32,500円	32,500円
通院保険金日額	4,000円	4,000円	4,000円	4,000円
特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(※)	初日から補償	初日から補償	初日から補償
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	○
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料	350円	500円	550円	550円

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行所用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

< SJ21-10723より抜粋して作成 >

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。